

# ローマ教皇38年ぶり、浦上の地でミサを…

書式のひめ人(1)年  
(ひじはん)式(1)年

ヨハネ・パウロ  
ローマ教皇フランシスコ長崎訪問  
November 24, 2019

伊東 弘章

2019年11月24日、朝から雷の閃光  
はじえての大雨が。38年前の2月、  
ローマ法王（教皇）ヨハネ・パウロ  
II世が長崎の地を訪れて平和の祈り  
を…。奇しくもその日は大雪降りし  
きる中のミサであった。2度目となる  
ローマ教皇フランシスコが長崎の  
地へ入ったこの日も悪天候という。  
爆心地公園では犠牲者への祈りと核  
兵器廃絶の訴え、また西坂の丘、二  
十六聖人殉教地での祈りは強い風雨  
のなかであった。でも、県営ビッグ  
Nスタジアムに国内外から3万人の  
信徒、関係者が集い、教皇様を迎える  
午後は激しく降り続いた雨も  
ピタリと止み黒雲はあれよあれよと  
消え去り、スタジアム上空には青空  
がひろがり、暖かな日差しも降り注ぐ。  
その中でローマ教皇によるミサ  
が執り行われた。

先月終了のラグビーW杯大会のキャッ  
チコピー「一生に一度。」ローマ教皇来崎は、  
一生に二度も。私にとってはもう三度目はない。  
当日もし雨などで休みとあれば…と、記念カバー  
台紙のみ作っていた。

教皇来崎の24日は朝から  
の雨は幸いに私に降り注い  
だ。この雨で農作業も休  
みとなり、長崎中央局及び  
長崎北局へ記念押印に出かけられることになった。

ローマ教皇の長崎入りは  
午前10時頃だろう。その交  
通規制が始まる前に、長  
崎中央局と長崎北局にて記  
念押印を済ませた。



上2通：長崎中央局

下：長崎北局

